

つくしだより



平成24年9月号

東京都精神障害者家族会連合会
(東京つくし会)
〒156-0056
世田谷区八幡山3-33-1
林マンション202
TEL/FAX:03-3304-1108
発行者 野村忠良
2012.9.15 第267号

東京都知事に要望書を今年も提出します
精神障害者の地域生活実現に
向けての要望書 概要(案)

都連会長 野村 忠良

〈要望趣旨〉

先進諸国では半世紀前から地域精神医療制度へと転換し、当事者は地域で生活支援と医療支援を活用しながら生活するのが当たり前となっています。しかし、我が国では、依然として精神障害福祉は立ち遅れており、支援の中心は家族に負わされたままになっております。

これからのち、下記の要望事項が施策に活かされて精神疾患が誰にも起こりうる病として認知され、暖かく理解し合える共生社会の環境が整えば、精神疾患にかかり障害を持つても、地域内で安心して生活できるようになるでしょう。

要望1 精神障害者への福祉手

当、家賃援助をお願いし
ます

1. 他の障害者福祉政策との格差是正の一環として、都の心身障害者福祉手当及び心身障害者医療

費助成を精神障害者にも適用して下さい。

2. 精神障害者が地域生活をより自分らしく実現するには、アパートでの一人暮らしが必要です。家族に依存しないで生活をするためにもアパートの家賃補助を是非お願いいたします。

要望2 公教育の場での精神保健教育を進めて下さい

- ① 精神疾患は誰でも罹り得ること
- ② 思春期に発病が多いこと
- ③ いじめは精神疾患と深い関係があること
- ④ 統合失調症等は早期に治療を受ければ症状はとれやすく、回復可能で再発率も低いとされることなどです。

要望3 アウトリーチ支援体制を確立してください

1. 訪問対象を未治療・医療中断者と限るのではなく、必要とするすべての精神疾患のある人たちに広げてください。日常的に見守る支援サービスが行き届けば、救急移送の必要性も激減すると考えます。

2. 早期の相談支援を行ってください

い。地域では精神的不調を訴える若者が多く、このような人たちをアウトリーチ支援の対象にして早期の相談支援を行うことは重症化を防ぐことにつながります。そのときに家族の相談にも応じて家族の負担を軽減し、家族とともに支援をおこなうことは本人の回復を早めます。

3. 家族も支援の対象にしてください。精神障害者を抱え、地域で孤立する家族へのアウトリーチ支援体制を制度化してください。

要望4 東京都保健医療情報センターひまわりのシステムを現実に対応した制度に改善して下さい

夜間、休日に具合が悪くなった時診療受け入れと移送も含め安心してきる救急医療システムを確立して下さい。

要望5 家族会と当事者団体の運営費を補助して下さい

事務所賃借料を含む運営費を補助して下さい。



茨城全国大会へのお誘い

大きなうねりをつくりましょう！

会長 野村 忠良



来る11月21日～22日に開かれる今回の全国大会では、これまでと違って精神保健医療福祉の大きな変革のうねりがあります。ぜひ、多くの家族と本人に参加していただき、実感してください。

変革の第一は、保護者制度が廃止される可能性が強まっていることです。家族は精神障害者の治療や強制入院での同意の責任から解放される可能性が強くなってきました。それには厚生労働省が来年の国会にどのような形で精神保健福祉法の改正案を出すかが重要ですが、このことについては一日目の午後16時に厚生労働省の行政報告があります。

第二は、国連障害者権利条約を追い風に、障害がある方々の人権擁護のための国の施策が少しずつ進んでいることです。みんなねっとの川崎理事長が話されます。特に昨年の障害者基本法の改正では、障害者政策委員会が国、都道府県及び市町村に設けられることになりました。

た。障害者政策委員会は障害者基本計画作成時には内閣総理大臣又は関係各大臣に意見を述べ、その実施については監視をし、必要がある時は内閣総理大臣、又は内閣総理大臣を通じて関係各大臣に勧告することになっています。勧告を受けた総理大臣又は関係各大臣は、勧告に基づき講じた施策については、障害者政策委員会に報告しなければならぬことになりました。

変革の第三は、国民のこころの健康について全国の地方議会が大きな関心を示し、こころの健康基本法制定に賛成する意見書が300を超える議会で採択されたことです。署名も72万筆余りに達しました。法律案の内容はどうなるか国会の議員連盟で検討中で未確定ですが、仮に今国会で通らなくても、制定を求める民意は明確になりましたので、こころの健康を守る動きは今後も続く流れとなるでしょう。このテーマについては、大会の一日目の午後16時に西田淳志氏による講演があります。

最後に第四として、入院医療から地域医療への転換の流れがあります。精神科病床を減らし、病棟職員の対患者比率を増やす方向性が出ています。地

域での精神科病院等からの訪問（アウトリーチ）支援事業も進められています。

二日目の五つの分科会では、震災、家族会活動、当事者の自立支援、就労支援、ひきこもり問題への対応が組まれています。

まさに私たちの状況が変わろうとしています。しっかりとそのことを理解するために、ひとりでも多くのかたの大会の参加をお願いいたします。



☆賛助会費☆ (敬称略)

蒲田家族会	1口	5,000円
くるみクリニック	1口	3,000円
つのおクリニック	1口	3,000円
山本メンタルクリニック	1口	3,000円
廻田クリニック	1口	3,000円
森岡クリニック	1口	24,000円
アーツクリニック大崎	1口	3,000円

ありがとうございます。

(平成24年8月1日～31日現在)

第5回 全国精神保健福祉家族大会

みんなねっと茨城大会

～私たちが拓く扉！ 障害者元年～

第1日目

11月21日 (水)

第2日目

11月22日 (木)

- 10:00 受付
オープニングセレモニー (スマイルハウス)
-
- 12:00 開会式
開会の言葉／主催者あいさつ
来賓祝辞／来賓・祝電紹介
-
- 12:45 休憩
-
- 13:00 講演
テーマ「私たちの求める家族支援」
講師／佐藤 純 (京都ノートルダム女子大学)
-
- 14:20 活動報告
テーマ「最近の障害者施策の動向」
講師／川崎 洋子
公益社団法人全国精神保健福祉会連合会理事長
-
- 14:50 行政報告
厚生労働省
-
- 15:20 休憩
-
- 15:40 講演
テーマ「こころの健康基本法 (仮称) の法制化に向けた国民的取り組みについて」
講師／西田 淳志
公益財団法人東京都医学総合研究所主任研究員
-
- 17:00 懇親会
ホテルグランド東雲

- 9:00 受付
-
- 9:30 分科会
第1分科会 (震災対応)
テーマ「東日本大震災から1年半」
～そこから私たちは何を学ぶか～
-
- 第2分科会 (就労支援)
テーマ「こうすれば障害者が働ける！」
～まず働く場所を創り、それから定着支援へ～
-
- 第3分科会 (家族会)
テーマ「元気な家族会から」
～元気の秘訣はここにあります～
-
- 第4分科会 (ひきこもり問題)
テーマ「ひきこもり問題への対応」
～地域での見守り支援活動～
-
- 第5分科会 (当事者と自立)
テーマ「支えられて自立生活」
～今、元気でやっています～
-
- 11:30 休憩・移動
-
- 11:45 閉会式
大会宣言
次期開催地あいさつ 閉会のあいさつ

会場へのアクセス 秋葉原駅からつくば駅まで45分



つくば駅から徒歩10分



お問い合わせ先

公益社団法人
全国精神保健福祉会連合会
東京都豊島区東池袋1-46-13
ホリグチビル602
TEL 03-6907-9211 FAX 03-3987-5466

第5回全国精神保健福祉家族大会
みんなねっと茨城大会実行委員会事務局
茨城県水戸市笠原町993-2
茨城県精神保健福祉センター 3F
TEL 029-243-6172 FAX 029-243-6172

株式会社 JTB 関東 法人営業茨城南支店
茨城県つくば市竹園2-2-4
TEL 029-860-2872 FAX 029-854-1664

日時／平成24年11月21日(水)～11月22日(木)

会場／つくば国際会議場 (エポカルつくば)

参加費／3,000円 (当事者500円・学生1,500円)

『H24年度第1回西ブロック会議を振り返って』

都連副会長 松原 のり子

7月21日、中野たんぽぽ会と杉並家族会のご協力により、高円寺障害者交流館にて、今年度第1回西地域ブロック会議が開催された。12単会中10単会より21名、つくし会より5名の参加を得て、合計26名での活発な意見交換がされた。

野村会長と川崎副会長から「保護者制度」、「こころの健康基本法」、「障害者総合支援法」、「精神科特例」等の法律問題の動きが説明され質疑応答に入った。

国民の5人に1人が一生の間に精神疾患に罹患するという事実からも「こころの健康基本法（仮称）」制定を求める署名が72万筆に達したという事実からも、精神疾患克服という課題は全国的な問題であることが明らかになった。

各単会からは高齢化や会員数の伸び悩みなどの厳しい現状報告と共に、それを乗り越える工夫や挑戦が報告され、家族会が秘めている底力を見る思いがした。



講演会のお知らせ

主催者名	日程	内容
あかね会 TEL:03-3307-7088	9/28(金)	うるおいの里の現状と将来展望 うるおいの里 職員
西多摩虹の会 TEL:090-1882-0306	10/6(土)	心の病気の治療とリハビリテーションについて ひだクリニック 院長 肥田 裕久氏、副院長他
サンクラブ多摩 TEL:042-372-0823	10/6(土)	地域で生きる自立のためのステップアップ 社会福祉法人 巢立ち会 理事長 田尾 有樹子氏
新宿フレンズ TEL:03-3987-9788	10/13(土)	統合失調症 再発を防ぐ 入院と通院の判断 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室助教授 新村 秀人氏
FHMの会 TEL:042-530-7233	10/13(土)	家族が助かるチーム医療！～在宅支援センター『円』の実践から～ 多摩在宅支援センター円 理事長 寺田 悦子氏
あしなみ会 TEL:03-3881-6400	10/14(日)	「人生、ここにあり」映画上映会 「人生、ここにあり」上映実行委員会
あかね会 TEL:03-3307-7088	10/19(金)	家族に向けて 烏山病院 PSW 近藤 周康氏



※参加申込み、お問い合わせは、それぞれの主催者へお願い致します。

編集後記

わが家には池があります。とっても和風の庭の様な大きな池ではなく、玄関の横に長方形の池を作り、鯉が6匹泳いでいます。親分の鯉はなんと金色で、この池に来てもう40年以上にもなる長老です。

私はこの親分と、このところ遊ぶことをたのしみにしています。私が池のふちにたつと、おもむろにやってきます。口をパクパクしているのでおなかがすいているのかと餌をやっていました。そのうちに私の指をくわえ、引っ張りっこをするようになりました。

今では私を待ち構えていて、時には大きくジャンプして、早く遊ぼうよと言っているようです。頭をなでたりすると、うれしそうに泳ぎ回ります。

親分が本当にうれしいのかはわかりませんが、その様を見ている私はたのしいのです。

都連副会長

川崎洋子

